

JA全農 WEEKLY

2面

秋田大学学生支援で県産農畜産物を贈呈 地元の食材で学生生活を応援 (秋田県本部)

5面

JAアクセラレーター(第4期)採択企業紹介①
株式会社エコロギー、**株式会社TOMUSHI**(経営企画部)



器に盛り
刻みのりをのせて完成!

店頭のデジタルサイネージで春
掘りナガイモのレシピを紹介
(3面)

「酪王カフェオレ」第7弾「酪
王フルーツオレ」(8面)



100円定食を食べる学生(2面)

- 2 野口理事長が早稲田大学で農業や全農など講義(広報・調査部)
- 3 青森県産ナガイモのPRレシピ動画を制作(青森県本部)
J2「純情産地いわて」マッチゲームに協賛(岩手県本部)
- 4 JAグループ福岡が県知事と意見交換会(福岡県本部)
全国農協カントリーエレベーター協議会が第50回総代会を開催(米穀部)
「ぎふ清流GAP」認証商品イオンでPR販売(岐阜県本部)
- 6 プロフェッショナルを追う(8) 営農・技術センター農薬研究室 山我岳史さん(広報・調査部)

- 7 JAズームイン(青森・JA十和田おいらせ)
- 8 みのる食堂くまもと店でコーヒー店の人気メニュー限定販売(フードマーケット事業部)
「酪王カフェオレ」第7弾「酪王フルーツオレ」発売(酪王協同乳業株)
JAタウンショップ紹介
JA新おたる

Web版JA全農ウィークリーは
こちらから



<https://www.zennoh-weekly.jp/>

Web
限定

牛乳月間に合わせて「ミルクフェア」を開催(秋田県本部)

セブン-イレブンで三重県産タケノコを使用した新商品発売(三重県本部)



News!

野口理事長が早稲田大学で農業や全農など講義

オンラインも含め約200人の学生が聴く

広報・調査部

バックご飯「農協ごはん」、ニッポンエール商品を学生に配布して講義する野口理事長



全農の野口米代表理事理事長は5月18日、早稲田大学グローバルエデュケーションセンターで約200人の学生を前に、日本農業の現状や全農の取り組みについて特別講義を行いました。

早稲田大学では全学部生を対象とした講座「リーダーシップの軌跡ーグローバル時代の人と組織ー」(担当:熊谷善彰教授、藁谷友紀教授)を実施しています。産業界を中心とするリーダーから生の声で、変革の意志、変革のプロセス、そしてその成果とフィードバックについて話を聞き、分析し、討論することを目的に実施され

る講座です。

オンラインも含め約200人の学生が出席する中、同校の卒業生でもある野口理事長が、「持続可能な農業と食のためのリーダーシップとは」と題し、日本農業の現状、JAグループの紹介、全農の取り組みについて、動画やスライドを使って講義しました。90分の講義で、学生は熱心に聴講していました。学生からは「農業労働力への支援のため、どう全農は取り組むのか」「農産物輸出拡大の方策はどのようなものか」「全農の事業上の競合はあるのか」などの質問がありました。

全農はさまざまなコミュニケーションを通して、今後とも若い世代への日本農業、JAグループ・全農の取り組みについて発信していきます。

News!

秋田大学学生支援で県産農畜産物を贈呈

地元の食材で学生生活を応援

秋田県本部



山本学長(右)へ目録を手渡す小林県本部長

秋田県本部は5月25日、新型コロナウイルスの影響で経済的に困窮している学生にバランスの良い食事を提供する一助とするため、秋田大学に県産農畜産物を計450kg贈呈しました。

今回贈呈した食材は精米270kg、豚肉135kg、アスパラガス40kg、ニラ4kg。大学内の食堂で「100円定食」や「JA全農あきた協賛特別メニュー」として提供されました。

秋田大学で行われた贈呈式で、小林和久県本部長は「学業に励む源としておいしい県産食材を食べ、健康でみのある学生生活を過ごしてほしい」と話し、山本文

雄学長へ目録を手渡ししました。また、山本学長は感謝の言葉として「学生にとって大きな助けとなる」と話し、大学から県本部へ感謝状が贈られました。

この日の100円定食のメニューは「チキンおろしダレセット」で、食堂には営業開始前から学生たちが列を作りました。

県本部は県農業を支える団体として、「食」で学生の皆さんを応援しています。



100円定食を食べる学生



青森県産ナガイモのPRレシピ動画を制作

首都圏スーパーで紹介、夏に向けて消費拡大へ

青森県本部



ライブ × JA全農あおもり **DELISH KITCHEN**

デリッシュキッチンでつくろう！

ごはんによく合う！
たたき長芋と鶏肉の照り焼き **2人分**

鶏もも	...1枚(250g)
青森県産ながいも	...200g
サラダ油	...大さじ1/2
酒	...大さじ1
みりん	...大さじ1
砂糖	...大さじ1/2
しょうゆ	...大さじ1と1/2
刻みのり	...適量

器に盛り 刻みのりをのせて完成！

※一部取り扱いのない店舗がございます。

店頭のデジタルサイネージで春掘りナガイモのレシピを紹介

甘辛い味付けで、ごはんが進む一品です。制作した動画は、首都圏のスーパー・東急ストアとライブの合計160店舗のナガイモ売り場に設置したデジタルサイネージで放映しました。動画を制作した担当者は「食欲がそそる動画に仕上がりました。暑い時期に向けて、ナガイモ料理をたくさん食べてスタミナをつけてほしい」と話しました。

動画は、首都圏スーパーとのタイアップ企画で、旬の春掘りナガイモの特徴や手軽なレシピを紹介するものです。5月30日から6月7日まで、首都圏スーパーの店頭で放映しました。甘みがあり熟成されたおいしさが特徴の春掘りナガイモを、収穫作業や洗浄後、の白くて丈夫な芋の映像を交えながら紹介。取り上げたレシピ「たたき長芋と鶏肉の照り焼き」は、(株)エブリーが運営するアプリ・デリッシュキッチンに掲載されています。ナガイモをめん棒で袋に入れてたくのがポイントで、味がからみやすく手も汚れなくて済みます。甘辛い味付けで、ごはんが進む一品です。制作した動画は、首都圏のスーパー・東急ストアとライブの合計160店舗のナガイモ売り場に設置したデジタルサイネージで放映しました。動画を制作した担当者は「食欲がそそる動画に仕上がりました。暑い時期に向けて、ナガイモ料理をたくさん食べてスタミナをつけてほしい」と話しました。

青森県本部は、6月16日の「麦とろの日」に向けて、県産ナガイモの消費拡大を図ろうとPR動画を制作しました。



J2「純情産地いわて」マッチゲームに協賛

「銀河のしずく」など県産農畜産物をPR

岩手県本部



高橋県本部長からいわてグルージャ盛岡へ「銀河のしずく」1俵を贈呈



県本部管理部総合企画課の下出貴志課長から横浜FCに「いわて純情豚」1頭分の豚肉を贈呈

岩手県本部は5月25日、盛岡市のいわぎんスタジアム(盛岡南公園球技場)で開かれた明治安田生命J2リーグ「いわてグルージャ盛岡」と「横浜FC」の試合に冠協賛しました。

今回の協賛は岩手県本部では初めての取り組み。「純情産地いわて」のPRと県産農畜産物の販売促進を目的として実施しました。来場者先着1000人に岩手県産米「銀河のしずく」や「金色の風」などをプレゼントしました。

また、高橋司県本部長はあいさつで、いわてグルージャ盛岡の選手に対して「岩手県産農畜産物を食べて頑張りなさい」と激励しました。

このほかマッチゲーム開催を記念して、いわてグルージャ盛岡には県産米「銀河のしずく」1俵(60kg)が、試合に3対1で勝利した横浜FCには勝利チーム賞として「いわて純情豚」1頭分の豚肉を贈呈しました。

張ってほしい」と激励し、横浜FCの選手やサポーターには「この機会に、岩手県のバラエティー豊かな農畜水産物を堪能してほしい」とPRしました。

JAグループ福岡が県知事と意見交換会

ニッポンエール商品を紹介し贈呈

福岡県本部



パネルを手に笑顔の服部知事(左)とJA福岡中央会の乗富幸雄会長

福岡県本部を含むJAグループ福岡は5月19日、福岡市内で福岡県知事と意見交換会を行いました。

意見交換会では、現在の福岡県における農畜産物の情勢やコロナ禍で飲食店などで県内農畜産物の需要が減少している現状を説明するとともに、肥料などの高騰による生産者支援を求めました。

また、ゴディバジャパン(株)とコラボした福岡県産「博多あまおう」を使用したジュレシヨコラなどのニッポンエール商品を紹介し、服部誠太郎知事に贈呈しました。

今後とも行政とも連携し、福岡県産農畜産物の消費拡大、生産基盤の維持に取り組んでいきます。

全国農協カントリーエレベーター協議会第50回総代会を開催

上級オペレーター認定式で10人を認定

米穀部



認定された上級オペレーター

米穀部が事務局を務める全国農協カントリーエレベーター協議会は6月8日、東京・大手町のJAビルで上級オペレーター(以下OP)認定式と第50回総代会を開催しました。

上級OP認定式では、新たに10人が認定され、御子柴茂樹会長から認定証と記念品が授与されました。カントリーエレベーターに関する十分な技術・知識を持ったOPを上級OPと定義し、認定することで他OPへの指導育成や模範となることが期待されています。今回の認定により、上級OPは累計103人(18県)となりました。

また、第50回総代会では、令和3年度事業報告・収支決算、4年度事業計画・収支予算、任期満了に伴う幹事の選任について協議され、議案は全て承認されました。会長には長野県JA上伊那の御子柴前組合長に代わり、新たにJAさがの大島信之組合長が就任しました。

「ぎふ清流GAP」認証商品 イオンでPR販売

岐阜県独自GAP制度の認知度向上へ

岐阜県本部



設置した「ぎふ清流GAP」特設コーナー
栽培したイチゴ「美濃娘」を販売し、訪れた人は設置されたパネルを興味深そうに見ながら商品に手を伸ばしていました。

岐阜県本部は5月20～22日の3日間、イオン各務原店に「ぎふ清流GAP(農業生産工程管理)」の特設コーナーを設け、同制度の認証を受けた農産物のPR販売を行いました。

「ぎふ清流GAP評価制度」は、国際水準GAPに準拠した評価項目による県独自のGAP制度(2020年11月)です。今回の取り組みは、消費者の「ぎふ清流GAP」に対する認知度を高めようと岐阜県本部とイオンリテール(株)東海カンパニーが連携して実施しました。

特設コーナーにはJAにしみとの県の協力で同認証について分かりやすく解説したパネルやパンフレットなどを設置。同JA管内で生産された水菜、小松菜のほか、全岐阜県いちご新規就農者研修所で栽培したイチゴ「美濃娘」を販売し、訪れた人は設置されたパネルを興味深そうに見ながら商品に手を伸ばしていました。

プロフェッショナルを追う(8)

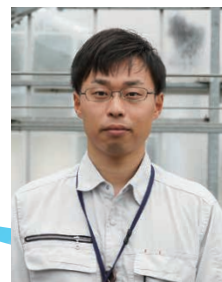
J A全農営農・技術センター農薬研究室

山我岳史さん

開発・試験研究重ねて

省力で安全な農薬を提案

全農グループには専門的な業務に従事している職員がいます。今回はJ A全農営農・技術センター農薬研究室の山我岳史さんに迫ります。



——キャリアについて教えてください。

大学では昆虫のウイルスについて研究していました。2015年に入会し、営農・技術センター

の農薬研究室に配属され、18年から東北営農資材事業所で農薬推進や技術課題対応などを担当しました。22年から再び農薬研究室に勤務しています。

——農薬研究室とは？

新農薬の開発や防除方法などの検討、試験研究に取り組み部署です。殺虫剤、殺菌剤、除草剤、環境・化学の4チームあ



肉眼で判別できないものは顕微鏡で確認



バンカーシートの研究でダニの数を調べる山我さん

り、私自身は入会時も今も殺虫剤チームに所属しています。

——仕事の主な内容は？

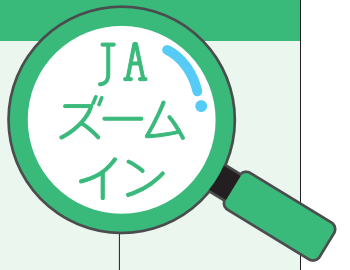
今は殺虫剤チームとしてチームを取りまとめています。天敵資材「バンカーシート」も担当しています。バンカーシートは、私が入会した時にちょうど上市（市場に出すこと）の直前でした。新しい資材だったので、性能評価や、いつ、どのように使えばいいのか、どんな作物に使えるのかなど、使用方法について試験していました。天敵は、上手に使うためのポイントがいくつかあります。上市して数年経った現在も、使い方についての研究は続いています。天敵以外にも、農薬研究室では農薬の試験研究を行っています。例えば既存の農薬でも、これまでにない使い方ができるのか、他の病害虫にも効果があるのかなど、さまざまな試験を行っています。

また、新農薬などは、農薬メーカーと協力して試験研究を行うこともあります。メーカーと直接やり取りできるのは全農ならではだと思います。

——これから取り組みたいことは？

天敵農薬はもっと研究したいです。天敵は抵抗性がつきませんし、環境に与える影響も小さいです。うまく使えば化学農薬をしのご効果が得られることもあります。ただ、どうしても天敵だけでは安定した栽培ができないので、化学農薬とバンカーシートを組み合わせた「いちごハダニゼロプロジェクト」のように、分かりやすく効果の高い防除層の作成にも取り組みたいです。適切な時期に必要な農薬を使うことで、無駄を減らし、農薬も上手に効果を発揮させることができます。

また、新規剤の研究開発もできればと思っています。抵抗性ウシカ対策でメーカーと共同開発した「ピラキサルト」のような新しい農薬は、現場の課題を解決し、生産者の選択肢を増やすことができます。試験や研究を通して、生産者の利益につながるような活動をしていくのも、農薬研究室の役目だと考えています。



出向く体制を強化

組合員に寄り添う事業

青森県のJA十和田おいらせは、2010年4月に4JAによる広域合併JAとしてスタートし、事業範囲は2市5町3村に及びます。



農家巡回をするJA職員

管内は販売高全体の5割を占めるのが野菜類で、ナガイモ、ニンニク、ダイコンを主力作物に県内最大級の野菜産地です。消費者ニーズや農家の所得向上に結び付けるため、米や畜産の生産拡充にも努めています。

「困ったときの相談窓口」農家所得の増大へ

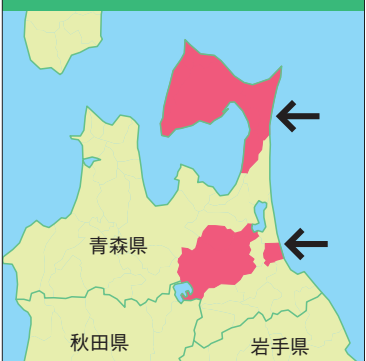
JA十和田おいらせは、農家組合員へ出向く体制を強化する「担い手パワーアップ・アクション」を進めています。栽培の技術指導や農機の導入助成、自然災害への支援など、農家組合員の意見や要望を聞き、農家所得の増大とJA事業の伸長を目指しています。

事業を活用して導入したコンラの収穫機で作業をする組合員



農業者の高齢化や担い手不足、生産資材の高騰など不安が多い中、「困ったときの相談窓口」として、農家組合員に寄り添う事業を展開しています。活動10年目となる22年度は、7支店1事業所、1営業センターの支店長らを中心

JA十和田おいらせ (青森県)



心に3〜7人のチーム編成で、計45人の担当者が年間約6400戸を訪問します。

現場の声を生かし 新たな取り組み実現

これまで組合員の声をもとに、「やさい産地拡大対策事業」によるニンニクやネギの作業機械の導入助成や若手農業者を対象とした育成塾、米価や黒毛和種枝肉価格の下落に対する再生産支援、青年部と協力した婚活イベントのほか、「若手農業者パワーアップ大会」の開催で管内の若手後継者ら300人が集まり情報共有を図るなどさまざまな対策を講じてきました。

概要 (令和4年3月31日現在)	
正組合員数	6235人
准組合員数	5216人
職員数	263人
販売品取扱高	145億2千万円
購買品取扱高	33億5千万円
貯金残高	835億円
長期共済保有高	3057億6千万円
主な農畜産物	米、ナガイモ、ニンニク、ゴボウ、ダイコン、ニンジン、ネギ、畜産

今後は、事業未利用者への積極的な巡回によりJAの優位性や強みを認識してもらおうほか、指導や助言で信頼関係を強化させ、農家所得の向上や産地拡大、JA利用の増大につなげていきます。



「ながいもの達人」から栽培管理を学ぶ塾生



みのる食堂くまもと店で「AMAZING COFFEE」、熊本経済連とコラボ 地元食材使ってコーヒー店の人気メニューを限定販売

全農は、直営飲食店舗「みのる食堂アミュプラザくまもと店」で、7月2~18日に「AMAZING COFFEE」、JA熊本経済連とのコラボレーション商品を期間限定で販売します。

【フードマーケット事業部】

「AMAZING COFFEE」は、EXILEのTETSUYAさんがプロデュースするコーヒーショップで東京・大阪を中心に展開しています。今回のコラボ企画では、同ショップの人気メニューを、経済連が提供する旬の熊本県産食材を使用して販売します。また、同県出身のEXILE・NESMITHさんが考案した食事メニュー

も数量限定で提供予定です。

熊本県産イチゴ「ゆうべに」を使用した「サンキゅうべに〜マッチ」や肥後グリーンメロンの「AMAZINGグリグリメロン〜肥後グリーンクリームソーダ〜」、熊本県産黒毛和牛和王使用「WAOH!サマー丼」などの魅力的なメニューに加え、同ショップのオリジナルコーヒー豆やタンブラーなどの一部アイテムも販売します。

ぜひこの機会にお立ち寄りください。

期間 2022年7月2日(土)~7月18日(月・祝)

実施店舗 みのる食堂アミュプラザくまもと店



AMAZINGグリグリメロン〜肥後グリーンクリームソーダ〜

Webサイトはこちら



「酪王カフェオレ」シリーズ第7弾

「酪王フルーツオレ」発売

暑い時期にピッタリの乳製品登場!

酪王協同乳業(株)は6月27日、福島県郡山市のソウルドリンクと言われる「酪王カフェオレ」のシリーズ第7弾として「酪王フルーツオレ」を発売します。

【酪王協同乳業(株)】

今までのシリーズにはなかった、暑い日やお風呂あがりでもゴクゴク飲めるスッキリとした後味で、これからの季節にピッタリな乳飲料が仲間入りしました。20年前に発売し、大人気だった「ピンのフルーツオレ」の酸味のきいたオレン

ジベースの味わいを再現しつつ、当時3種類だったフルーツを、ぜいたくに7種類に増やし、グレードアップしました。パッケージも「ピンのフルーツオレ」をイメージした、どこか昔懐かしいデザインに仕上がっています。

発売日 2022年6月27日(月)

容量 300ml・500ml

特徴 福島県産生乳10%使用・7種類のフルーツ使用



500ml

JAタウン酪王協同乳業



300ml

JA全農のインターネットショッピングモール

JAタウン ショップ紹介



JA新おたる

昼夜の寒暖差が大きい北海道仁木町は果物の栽培に適した風土。7月には、サクランボ「紅秀峰」が旬を迎えます。

「紅秀峰」は「佐藤錦」を親に持つ比較的新しい品種。「佐藤錦」より酸味が少ないため、一粒一粒に甘みを感じることができます。お届けするサクランボは直径25mm以上の2Lサイズを厳選しています。

つややかに輝く鮮やかな赤い果実は見た目も美しく、家庭用はもちろん、ギフト用としてもお勧めです。



紅秀峰 7月の北海道の旬 仁木町産サクランボ (300g×2パック) ……5280円(税込み)

ご注文はこちら



▶ JAタウンはこちらから <https://www.ja-town.com>

▶ お問い合わせは shop@ja-town1.com

